

主な出題項目

主な出題項目を認定テキスト中級より抜粋し、下記に示しています。詳細は認定テキストをご確認ください。なお初級は中級と比較し基礎的内容、上級は法令が出題範囲となっています。

〈食品の安全と食品表示〉

- 食品と食品表示
- 食品表示に関する法体系
- 食品表示基準の構成

名称等、原材料名、添加物、原料原産地名、内容量、期限表示、保存方法、原産国名、製造者・輸入者・販売者

- アレルギーを含む食品の表示
- 遺伝子組換え食品表示
- 有機食品表示と特別栽培農産物
- 商品の特徴づける任意表示
- 保健機能食品・特別用途食品
- 景品表示法
- 米トレーサビリティ法
- 外食店における表示
- 業務用食品の表示
- 酒税法・酒類業組合法
- 資源有効利用促進法等

〈食品表示の事例〉

- 農産加工品
- 畜産加工品
- 水産加工品
- その他加工食品
- 酒類

〈生鮮食品の表示〉

- 生鮮食品の表示の原則
- 生鮮食品表示の例(農作物、畜産物、水産物)

〈加工食品の表示〉

- 加工食品の表示の原則
- 加工食品表示の項目別内容

〈表示の個別解説〉

- 添加物表示

〈栄養成分表示〉

食品表示検定対策セミナー開催スケジュール

●お申込方法

食品表示検定協会主催の対策セミナーは下記の通り開催します。初級・中級は、8月20日(月)、上級は8月27日(月)よりお申込を開始します。インターネット、FAX、郵送、(上級はインターネットのみ)にてお申込ください。最新情報はHPでご確認ください。

●初級対策セミナー 受講料▶5,100円(税込) 時間▶13:00~17:30

内容：認定テキストの重要ポイントを解説します。

場所	日程	会場
東京	9月29日(土)	KFCホール(東京都墨田区)
	10月30日(火)	
名古屋	10月20日(土)	IMYホール(名古屋市東区)
大阪	10月6日(土)	新梅田研修センター(大阪市福島区)

●中級対策セミナー 受講料▶10,300円(税込) 時間▶9:30~17:30

内容：実力診断テストを交えながら、認定テキストの重要ポイントを解説します。

場所	日程	会場
札幌	10月13日(土)	北海道自治労会館(札幌市北区)
	10月6日(土)	
東京	10月14日(日)	KFCホール(東京都墨田区)
	10月25日(木)	
	10月31日(水)	
	10月13日(土)	
名古屋	10月21日(日)	IMYホール(名古屋市東区)
大阪	10月7日(日)	新梅田研修センター(大阪市福島区)
	10月24日(水)	
福岡	10月14日(日)	南近代ビル(福岡市博多区)

●上級対策セミナー 受講料▶7,200円(税込) 時間▶13:00~17:00

内容：試験と同じ形式の問題を解くことで、出題形式を知っていただくセミナーです。

場所	日程	会場
東京	10月18日(木)	KFCホール(東京都墨田区)
大阪	10月5日(金)	新梅田研修センター(大阪市福島区)

【メールマガジン】配信中

「食品表示メールマガジン」にて、検定試験の案内、食品表示関連の最新情報を毎月無料配信しています。ホームページトップページよりご登録できますので、まだご利用のない方はこの機会にご登録ください。



初級合格のための副教材に最適! NEW

食品表示検定 初級・問題集

発売：ダイヤモンド社
定価：1,400円(税別)
2018年8月8日発行予定

「食品表示検定・初級」初の公式問題集。実際の試験に準じた出題形式の練習問題により、試験対策はもちろん、食品表示への理解を深めるためにも役立つ一冊。

2018年〔後期〕

第18回 初級・中級 11月25日(日)

第8回 上級 12月2日(日)

食品表示検定試験



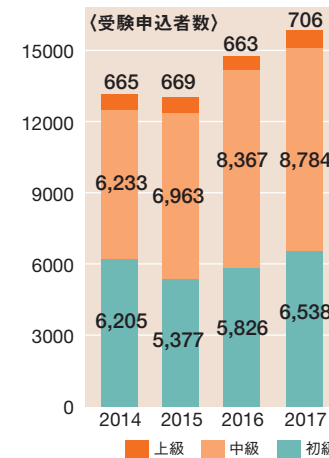
ホームページはこちら

「食品」の安全と信頼を目指す「食品表示検定試験」

- 2020年4月から一部の制度を除き食品表示法が完全施行されます。これに向けて、事業者はもちろんのこと、行政も消費者もますます関心が高まっており、食品表示法に準拠した適正な表示の作成力や理解力が必要とされます。既に、各企業・団体の人材育成や社員教育の一環として、また、食品業界に就職を希望する学生の方などにもご活用いただいております。
- 一般社団法人食品表示検定協会は、検定試験を通して食品表示に関する知識の向上を目指す皆様のレベルアップを支援しています。皆様の奮ってのご受験をお待ちしております。

「10万人を超えた総受験申込者数」

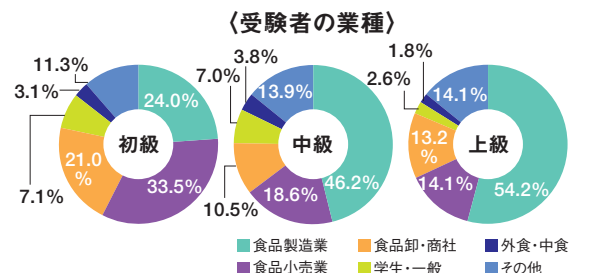
- 2017年度の食品表示検定試験の総受験申込者数は1万6,000人を超えました。2018年度もほぼ同数で推移するものと見られます。加えて、2009年からの累計総受験申込者数は10万人を超え、累計合格者数も約5万人に達する勢いです。皆さまのお申込みをお待ちしています。



総受験申込者数	総合格者数
108,896 人	46,787 人

※2018年6月現在

- 第16回(2017年11月26日)初級・中級検定及び第7回(2017年12月3日)上級検定の業種別受験者の比率は以下のとおりです。食品に関連する幅広い業種の方が受験されています。



「食品表示検定テキストのご案内」

- 全国主要書店、オンライン書店各社のサイト、ダイヤモンド社のホームページからご購入いただけます。



食品表示の基礎がわかる!

改訂5版食品表示検定認定テキスト・初級

発売：ダイヤモンド社
定価：1,400円(税別)
2018年1月発行
2018年度の初級試験対応
食品表示検定協会が主催する「食品表示検定・初級」向け認定テキスト。食品業界の食品表示初心者の方、食品表示を理解し、賢く商品を選択したい消費者、食品業界に就職を希望される学生の方にもおすすめです。加工食品の原料原産地表示義務化に対応済み。



食品表示の専門家養成!

改訂5版食品表示検定認定テキスト・中級

発売：ダイヤモンド社
定価：2,500円(税別)
2017年1月発行
2018年度の中級試験対応
食品表示検定協会が主催する「食品表示検定・中級」向け認定テキスト。食品業界で食品表示に携わる方必携の一冊。加工食品の原料原産地表示義務化には未対応。2018年度の試験用には関連資料をHPに掲載。ダウンロード可能。

食品表示検定試験は消費者の方から、食の生産、製造、流通等の職場で専門知識が必要な方までを対象にしています。

	こうした方にオススメ	こんなメリットがあります
初級がオススメ	<ul style="list-style-type: none"> ●食品の製造、販売、営業に携わり、食品表示の基本を知りたい方 ●食品業界、スーパーに就職活動をされる方 ●食品表示を理解し、商品を選択したい消費者の方 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品表示の基礎知識を得て、業務に活かせる。 ●食品表示の意味を理解し、「安心・安全」な食品を選ぶことができる。
中級がオススメ	<ul style="list-style-type: none"> ●食品業界の開発、品質管理ご担当の方 ●食品表示の知識が必要とされる食品の生産、製造、流通の現場でお仕事をされている方 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品表示の専門的な知識を得て、業務に活かせる。 ●食品表示に関する顧客からの質問に的確に答えられるようになる。
上級がオススメ	<ul style="list-style-type: none"> ●食品表示を作成する部門の責任者、実務者 ●食品表示が正確かどうか検証する部門の責任者、実務者 ●食品表示の相談を受ける方(公的機関、コンサルタント) 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品表示のエキスパートとして業務に活かせる。 ●食品表示について自ら作成でき、指導できる。

※初級からでも中級からでも自由に受けたい級を選んでもいただけます。初級、中級同日の受験も可能です。 ※上級は中級合格者であることが受験条件です。

2018年〔後期〕食品表示検定実施概要

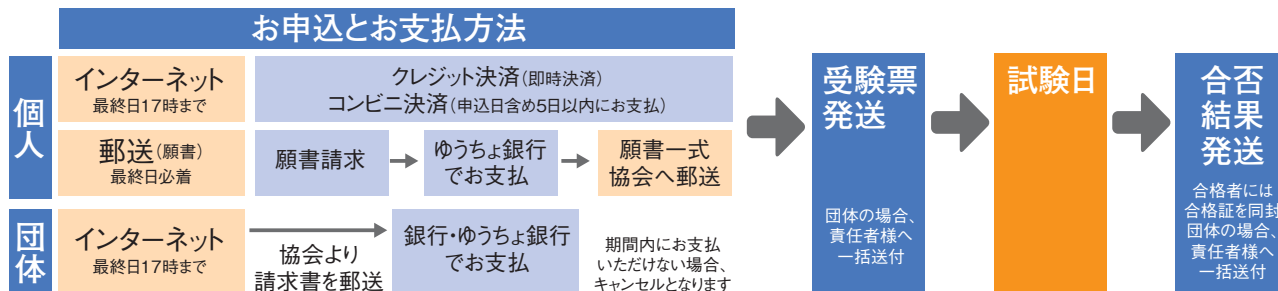
※実施概要は都合により一部変更することがあります。
最新情報は食品表示検定協会HPでご確認ください。

	第18回 初級	第18回 中級	第8回 上級
試験日程	11月25日(日)		12月2日(日)
試験開始時間	11時～(90分)	14時30分～(90分)	13時30分～(150分) 途中休憩あり
試験会場	札幌、仙台、大宮、東京、新潟、金沢、甲府、静岡、名古屋、大阪、神戸、広島、松山、福岡、鹿児島、那覇		札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
申込方法	個人(インターネット・郵送)、団体(インターネット)		インターネットからの個人申込
申込期間	8月20日(月)～9月28日(金) ※インターネット：最終日17時まで／個人はオンライン決済(クレジットカード決済またはコンビニ決済) ※郵送：最終日必着(個人のみ)		8月27日(月)～10月9日(火) ※最終日17時まで
受験票発送(予定)	11月7日(水)		11月7日(水)
合否結果発送(予定)	2019年1月7日(月)		2019年2月1日(金)
受験料(税込)	4,900円	8,200円	20,600円
	団体割引あり：各級単位で20名以上の場合(5%)		割引適用なし
受験資格	学歴、年齢、性別、国籍の制限はありません		中級合格者
出題範囲 (認定テキスト及びその理解度に応じた応用力：詳細はHP参照)	「改訂5版食品表示検定認定テキスト・初級」 ※2018年1月発行。加工食品の原料原産地表示義務化に対応。	「改訂5版食品表示検定認定テキスト・中級」 ※2017年1月発行。加工食品の原料原産地表示義務化には未対応。関連資料をHPに掲載しています。	食品表示全般に対する試験で、法令、ガイドライン、Q&A等から出題します。
出題形式	マークシート方式		マークシート方式・記述式
合格基準	70点以上が合格(100点満点)		80点以上が合格(100点満点)

※団体派遣受験：初級・中級の団体申込の場合、各級で受験者数が企業100名以上(状況により50名以上も可)、大学・専門学校50名以上、かつ一定の条件を満たす場合、団体が設置した試験会場での実施が可能です。詳細はHP「団体派遣受験」をご参照ください。

お申込から合否結果発送までの流れ

※詳しくはHPをご参照ください。



※上級は、個人のインターネット申込のみとなります。

食品表示検定 中級試験 過去問題例

「食用鳥卵の表示」に関する次の①～④の記述の中で、その内容が最も不適切なものを1つ選んでください。

- ① 名称として、「鶏卵」等と、その一般的な名称を表示する。
- ② 生食用のものは、保存方法を「冷蔵庫で保存すること」と表示する。
- ③ 国産品にあつては、原産地として養鶏場が属する都道府県名で表示することができる。
- ④ 加熱加工用の場合、「飲食に供する際に加熱殺菌を要する旨」を表示する。

25d 「卵管田等 8-8-2」 鶏中・4とキヨ至器・卵9に記：卵田
°ふと否也れれ管筆らいつ「アコ否ふそ卵の卵管田」の筆管卵アコふ並至器至卵卵管°ふ
卵7並筆°「具い1卵筆卵アコ否ふそ卵の上10.0」料の号の田等事至(卵管)卵管田等：卵田
◎：曼玉

*改訂5版・中級テキストは新しい原料原産地表示制度に対応していませんが、2018年度の試験は新制度に基づく出題となっています。補足資料が協会のウェブサイトでダウンロードできますので、必ずご確認をお願いします。

食品表示検定を評価する声

山梨学院大学 健康栄養学部 管理栄養学科編

食品表示は、食品関連授業に必要不可欠な項目です。
＝2年で初級、3年で中級を取得する学生がほとんど＝

——山梨学院大学では「食品表示検定」に積極的に取り組んでいらっしゃいます。その理由はなんでしょか？

仲尾 当校の管理栄養学科は2010年に新設されました。新設にあたり、厚生省から示された管理栄養士国家試験のガイドラインに「食品表示」が示されていたので、この食品表示を是非とも組み入れたいと考えたらからです。

——先生ご自身が食品表示検定試験を受けられたとお聞きしています。

仲尾 第2回食品表示検定試験・中級を2010年11月に受けました。教えるには、責任が伴いますからね。食品表示検定協会が発刊された「食品表示検定テキスト・中級」がとても良くできた本でした。複雑な食品表示を1冊にまとめた良書で、その検定試験もどんな内容かと自ら試しました。実践的で役に立つ検定試験でした。

——実際の授業ではどのような取り組みをされていますか？

仲尾 担当教科の食品加工学実習では、実際に製品を製造します。その際、表示ラベルも作成したり、市販食品のラベルを持ち込んで検討したりしています。また、当校の就職・キャリアセンターと協同で、検定試験への対応も行っています。

——渡邊さんは、初級・中級とも合格されています。就職も食品関連企業に決まりました。

渡邊 健康栄養学科では2年生で初級、3年生では中級の資格を取るのが普通です。さすがに中級試験は難しかったですね。しかし就職活動では担当官から「食品表示検定の資格を持っていますね」と尋ねられ、うれしかったです。

——試験会場を一般の方にも開放して、公開会場とされていますね。

仲尾 当大学から、70名強の受験者を毎年出しています。その多くは3年生までに中級の合格を目指し、実際に多くの学生が資格を有するまでになっています。お陰様で、管理栄養士の資格取得にも相乗効果をあげています。また、公開会場として地元および近隣の県からの一般受験者にもご利用頂いております。食品表示は今後の食品関連教育に必要不可欠です。今後も積極的に食品表示を授業で活かしていきたいと考えています。(2017.12)

※詳細はHPをご参照ください。



(左)：仲尾玲子教授(第2回中級合格)、(右)：渡邊ひと美さん(第12回初級、第14回中級合格)

株式会社東急ストア編

全社を挙げて、食品表示検定試験に取り組み、サービスの「品質向上」を追求
＝2020年度までに全店長、全食品バイヤーは資格取得者へ＝

株式会社東急ストア(本部：東京・目黒区)は、2014年から食品表示検定試験に全社を挙げて熱心に取り組んでいます。毎回受験者は300名を超え、現在、初級1,017名、中級254名の合格者を輩出する優良企業です。

これまで、「サービス介助士」などを通してお客さまへのサービス活動を行ってきた同社は、食品の表示に責任を持って対応していこうと、2014年より食品表示の知識習得に全社を挙げて取り組んでいます。

「店長、副店長、リーダーは初級を、商品部の課長、バイヤー、販売指導は中級の資格を取るように推奨しています(同社 コンプライアンス室 品質管理課長 葛西香理さん、同マネジャー 田知本理恵さん) 実際に試験に合格したデリカ食品部 デリカ食品バイヤーの守屋絵美里さんは、「店舗でデリカ食品のチーフをしていた時に、店長から初級検定を薦められました。売場でお客さまからのご質問も多く、かつ業務の上でも必要と感じたからです」と受験の動機を語ってくださいました。試験勉強では、実際に商品ラベルを見ながら、「なるほど、このようなルールに基づいて表示されているのね」と食品表示を身近に感じたそうです。また、通勤途中の電車の中やお休みの時にテキストを精読。社内で受験する方も多く、「切磋琢磨しながらの受験勉強は楽しかったです」と感想を述べられました。

2017年秋にデリカ食品バイヤーに着任した守屋さんの業務は、中級の資格保有者であることが条件(推奨)。試験範囲も広く、また奥深い中級の試験については、「難しかった」と率直な感想を述べつつ、「それゆえ、初級テキストをもう一度読み直し、中級テキストを隈なく読み込み、その結果1回で合格しました」と守屋さん。実務面では、デリカのレシピ作成において、品質管理課と連携しながら表示の精度を上げ、商談では、お取引先とのコミュニケーションが回りやすくなったといえます。

このように、同社の取り組みは、全社一丸となったもの。品質管理課の葛西課長、田知本マネジャーは「今後は、2020年度終了までに全店長、副店長、リーダーに初級取得、そして新入社員の取得フローも確立していきたい」と今後の抱負を語ってくださいました。(2018.6)



(左)：デリカ食品バイヤー 守屋絵美里さん(第10回初級、第16回中級合格)、(右)：コンプライアンス室 品質管理マネージャー 田知本理恵さん(第11回初級、第12回中級合格)

食品表示検定を活用している主な企業・団体

【流通業・卸売業】イオントップバリュ(株)、イオン北海道(株)、イオンリテール(株)、イオン琉球(株)、(株)イズミ、伊藤忠食品(株)、(株)エブリイホームイ HLDG、(株)オークワ、オーケー(株)、(株)光洋、(生協)コープこうべ、(生協)コープさっぽろ、(株)サンエー、(株)シジージージャパン、(株)セコマ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、全日本食品(株)、(株)千正屋総本店、(株)東急ストア、原信ナルスオペレーションサービス(株)、(株)平和堂、マックスバリュ中部(株)、マックスバリュ東北(株)、(株)ベルク、(株)ヤマザワ、(株)ライフコーポレーション ほか

【食品製造業】えひめ中央農業協同組合、キュービー(株)、昭和産業(株)、日東シシダ(株)、日本食研ホールディングス(株)、日本製粉(株)、日本ハム(株)、フジパン(株)、プリマハム(株)、(株)ブルボン、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、(株) Mizkan Partners、雪印メグミルク(株)、国分北海道(株) ほか

【その他】ANA フーズ(株)、(株)寺岡販売、日本デリカフーズ協同組合(セブン-イレブン)、(株)フジデリカ・クオリティ、日本フレッシュフーズフーズ協同組合(ファミリーマート)、プライムデリカ(株)、(株)丸信、天使大学、山梨学院大学、梅花女子大学、(株)ジェイアール西日本フードサービスネット ほか